

# 決算報告

平成23年度 佐呂間町

町では、皆さんが納めた貴重な税金がどのように使われているのかを知っていただくため、予算・決算などを基に財政状況を公表しています。今回は、昨年9月に議会で認定された平成23年度決算の概要についてお知らせします。

## 特別会計

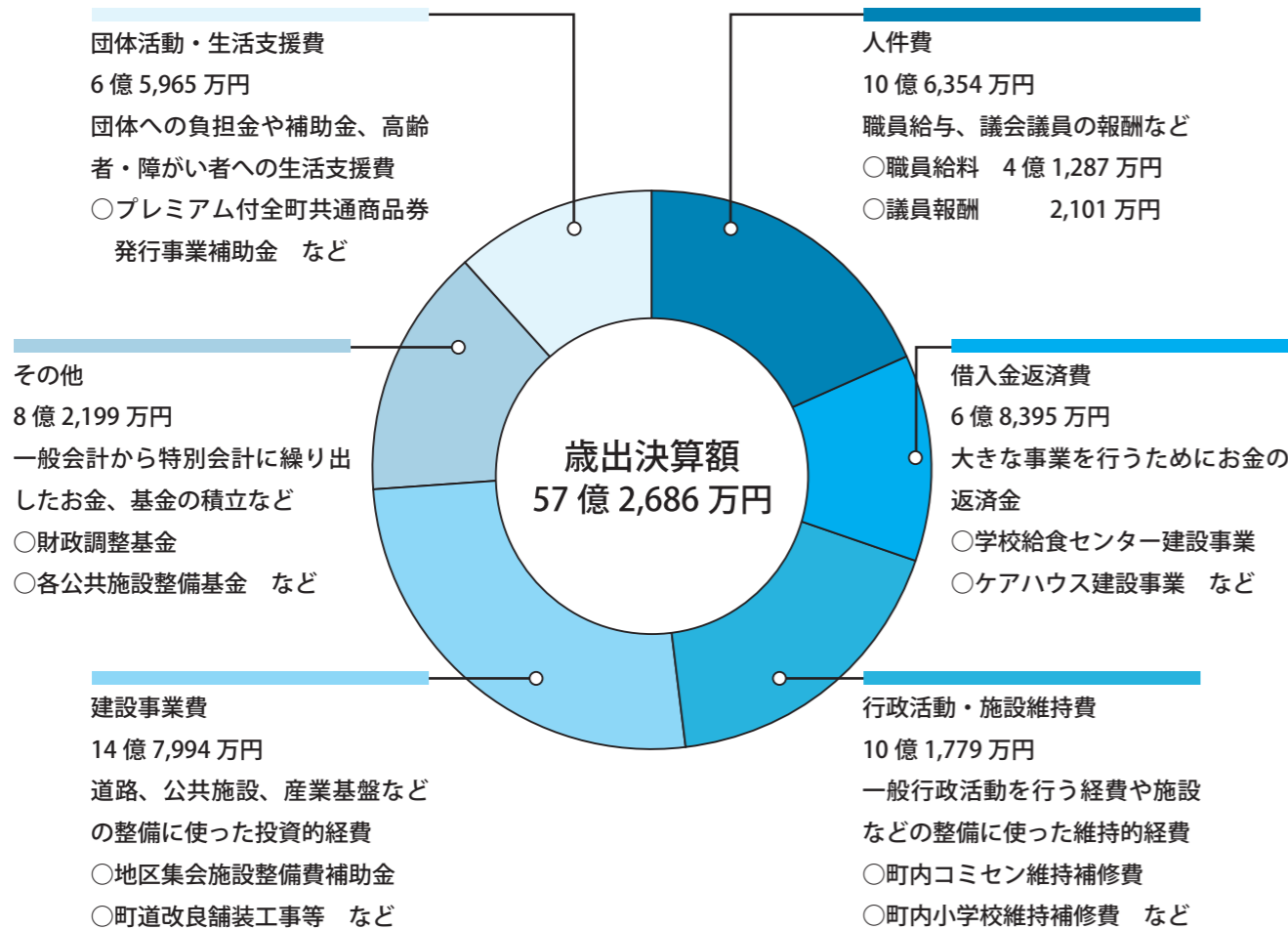
特定事業を行うため一般会計とは別に設けた会計

簡易水道	国民健康保険	公共下水道
収入 2億2,457万円	収入 8億4,873万円	収入 2億2,958万円
支出 2億1,499万円	支出 8億1,000万円	支出 2億1,941万円
介護保険	介護サービス事業	後期高齢者医療
収入 5億1,278万円	収入 2億3,324万円	収入 7,396万円
支出 4億9,893万円	支出 2億2,220万円	支出 7,064万円

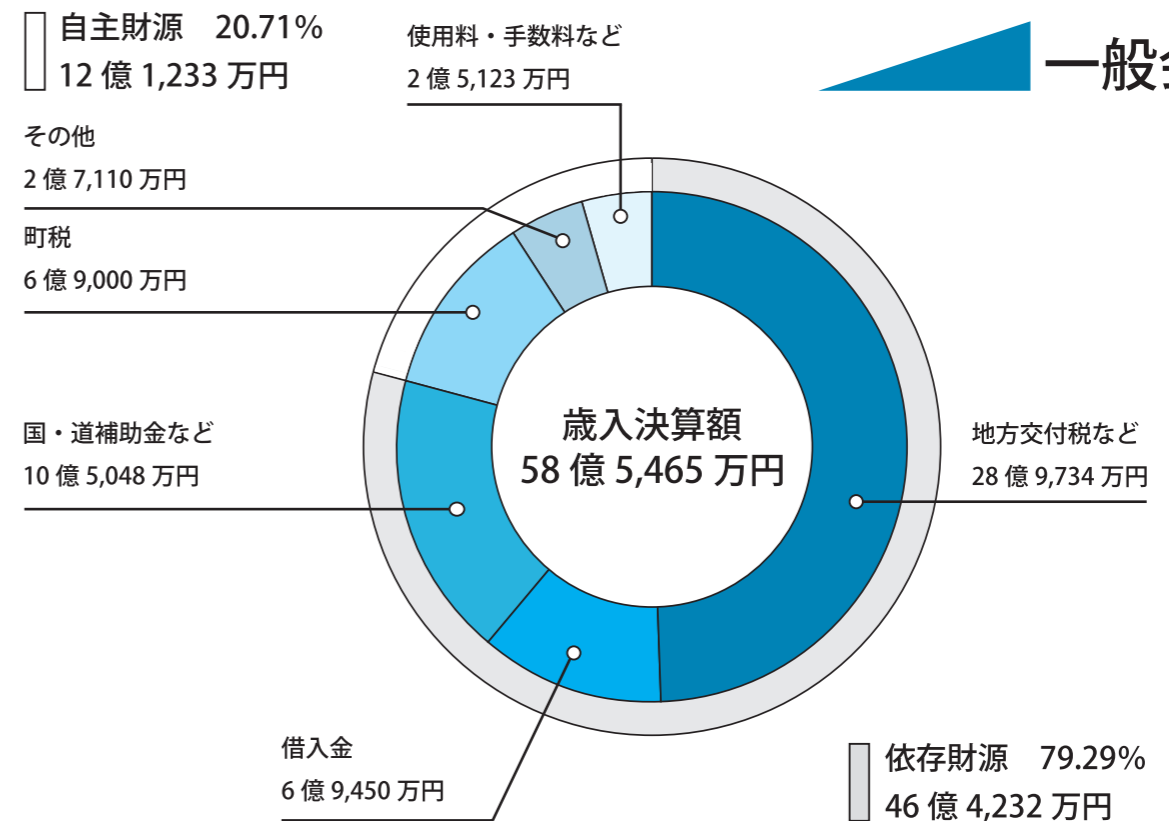
## 基金と起債

基金（貯金）・起債（借金）

- 基金 44億5,019万円
- 起債 83億8,995万円



## 一般会計



## 一般会計決算の概要

国の平成23年度予算編成の基本方針は、新成長戦略及び財政運営戦略のもと、「経済成長」、「財政健全化」、「社会保障改革」の一体的な実現を目指し、円高・デフレの脱却や経済成長の実現、国民生活の安定など、元氣な日本を復活させる礎を築くことを基本理念にスタートしましたが、一昨年3月11日発生の「東日本大震災」は東北地方を中心に甚大な被害をもたらすとともに、かつてない原発事故をも引き起こしました。このため、依然として回復の兆しを見せない経済情勢に加え、震災による壊滅的な社会生活基盤の崩壊により、国内の社会情勢はより一層深刻な状況となっています。（本町は、大きな被害を受けた岩手、宮城、福島、福島の3県にそれぞれ200万円の災害見舞金を支出しています。）

景気回復に向けた経済危機対策として、各種交付金（生活対策・経済危機対策など）と、「きめ細かな交付金」、「住民生活に光をそそぐ交付金」を合わせ、総額5億8,914万円が本町に交付され、公共施設の大規模改修事業などの財源として有効活用しました。

このような中、平成23年度の予算編成にあたっては「スクラップ・アンド・ビルド」の視点に立ち、第4次町総合計画の将来像「青い湖と緑の大地、人が輝く未来のサロマ」実現に向け、「費用対効果の高い予算編成」を基本としてこれまで同様長期的な健全財政運営を見据えた予算編成を行いました。

本年度の地方交付税総額は臨時財政対策債を含め、28億8,831万円で、対前年度比5.3%の減となりましたが、より一層の義務的経費の抑制、補助交付金などによる財源を確保しながら、土地改良事業や漁港整備事業などの第一次産業の基盤整備、簡易水道拡張事業や町道改良舗装事業などのインフラ整備また、プレミアム付全町共通商品券発行助成事業など、町民還元型のソフト事業にも積極的に取り組みました。

この結果、本年度も昨年同様、財源補てんのな基金繰入金を減額し、財政調整基金へ1億円、各公共施設整備基金へ1億9,000万円、北海道市町村備荒資金組合超過納付金へ2億円を積み立て、最終予算額を58億2,544万円（うち繰越明許費1億5,342万円）とし、前年度より3億6,217万円の増額（6.6%）としました。決算額については、歳入決算額58億5,465万円、歳出決算額57億2,686万円となり、実質収支差引残額は1億2,779万円となりました。